

上京ふれあいネット カミングとは…

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約しそれを広く発信するWebサイト。

<http://www.kamigyo.net>



上京 カミング



検索



HP

Facebookでも配信中

FB

小学生から70代までのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちになることを目指しています。普段はWeb発信が主になりますので、この1年間を振り返り本紙でその一部を紹介します。

カミングが大事にしていること

- 区民の方々と連携して、地域の魅力の再発見につながるような情報を提供すること。(取材の企画段階から、編集に携わる区民の方々と協議を重ねています。)
- 取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を図ること。
- 上京に暮らす人が、まちづくりに関わりたくなるような上京らしさと、関わる人たちの息吹がつたわるような記事・デザイン・メッセージを発信すること。

カミングムービーが充実しました!

「カミングムービー」…カミングサイト内に動画コーナーができました。動画でわかりやすくまとめられています。一部は、レポート記事とも連動し、より充実したサイトを目指します。



レポーター募集

一緒にカミングを盛り上げませんか?

毎月新たな取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当者を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容を取材し、レポートすることも可能です。

取材、編集のための講座など、サポート体制も充実しています。

取材依頼募集

こんな楽しい場所見つけました!!

こんな楽しいイベントやります!! など

自薦他薦は問いません。オススメの人物、スポット、イベントなどお寄せください。

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当
TEL:(075)441-5029 FAX:(075)432-0566



平成30年度を振り返って

この1年間にカミングに掲載した記事の一覧です。

I イベントレポート／まちと人をつなぐイベントのレポート

P Kaming Person／様々な分野で活躍する団体と熱い思いで活躍している方の紹介

S Kaming Spot／まちの注目スポットの紹介

生活・文化

I 明治150年記念全区リレー事業 講演会「上京から上京区へ」
～文化遺産へと生まれ変わった上京の「負債」とは～

I 端午の節句の伝統行事、軒菖蒲(のきしょうぶ)を体験しました。

I 普段着として着物をくるということ
～「ふだん着物相談&座談会」に参加して～

I 着物でもっと楽しむ都ライト

P (森さんの着物)※タイトル未!!

S 上京区の水巡り—第2段 京都御所界隈



地域主体のまちづくり

I 中立学区でSHALL WE DANCE?

S 学生たちが見た乾隆学区～地域の方との交流で学んだこと～

I 上京区140周年記念事業オープニング式典「伝統文化でつなぐ」



活躍する多様な団体

I 子どもたちが仮想企業を立ち上げ、地域を元気に。
～未来のリーダーが育まれる、堀商キッズチャレンジ。～

P ライトアップで上京に活気を!

P ビールは垣根を超えて人の輪を醸す～西陣麦酒計画～

P 「たくさん」交流しよう～京都に住んでいる外国人を支援!

P 上京区の消防活動

P 空き家問題を予防と活用でお助け!～上京空き家対策ラボの取組～

カミングムービー

■上京区防災講座「歴史・文化を通じて防災を学ぶ」

■上京探訪 まち歩きツアーア

■上京区140周年記念事業オープニング式典

■西陣を中心とした地域の活性化

■千両ヶ辻 ひな祭り「桃の節句の彩り」



Webサイトで掲載した内容を一部お届けします

Take Free



○カミングレポート特集

生活・文化

- 端午の節句の伝統行事、軒菖蒲(のきしょうぶ)を体験しました。
- 普段着として着物をくるということ
～「ふだん着物相談&座談会」に参加して～
- 着物でもっと楽しむ都ライト

地域主体のまちづくり

- 中立学区でSHALL WE DANCE?
- 学生たちが見た乾隆学区～地域住民との交流で学んだこと～

活躍する多様な団体

- ビールは垣根を超えて人の輪を醸す～西陣麦酒計画～
- 「たくさん」交流しよう～京都に住んでいる外国人を支援!

○カミングとは…

取材依頼募集・レポーター募集案内・カミングムービー紹介

○平成30年度を振り返って…



生活・文化

上京区では生活、文化に根差した自主的な活動が盛んに行われています。
子どもや若者もそこに参加し、未来へ受け継がれています。

端午の節句の伝統行事、
軒菖蒲(のきしょうぶ)を体験しました。



軒菖蒲は「京の年中行事 五節句」の一つです。香り高い菖蒲や蓬(よもぎ)を家の軒端に飾ることで邪気を祓う力があるとされています。菖蒲と蓬を合わせて和紙で包み、水引でまとめて完成したものを軒に飾りました。悪天候にも関わらず参加者からは、「節句の意味もきちんと知ることができ、勉強になりました。」と、学びと喜びの声がありました。こうした伝統行事が受け継がれています。



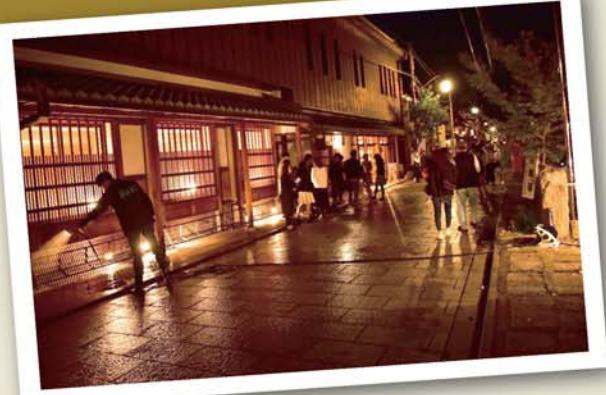
普段着として着物をきるということ
～「ふだん着物相談&座談会」に参加して～



雪柳庵で「ほんまもの『目利き市』」で開催された「超初心者向け・ふだん着物相談&座談会」。講師の板倉賀奈子さんは、ご家族が着物を着る姿を見て育ちました。そんな板倉さんから教わったのは「一日中楽で、平気で毎日着ができる『ふだん着物』」の着方。小道具は最小限のものでよく、腰紐3本で気軽に着られます。こんな普段着としての着方を身に付ければ、きっと着物へのハードルもさがることでしょう。



着物でもっと楽しむ都ライト



2018年11月、西陣大黒町界隈と上七軒で、学生による「まちと町家のライトアップイベント」が開催されました。初企画の「着物でもっと楽しむ都ライト」では、体験のための着物を集めたり、着付けを手伝ってくださる方を探すのに大変な労力が必要でした。その甲斐もあって、西陣織の町ならではのイベントに、多くの体験者の方から「楽しかった」、「来年も参加したい」等のお声をいただきました。



地域主体のまちづくり

地域住民が自らのまちを良くするための活動に、
参加し地域の熱い想いを感じて紹介されました。

中立学区でSHALL WE DANCE?

上京区中立体育振興会による、中立区民「社交ダンス体験教室」が開催されました。社交ダンス経験があまりない小学3年生から90歳までという多世代の参加でした。2時間のレッスンはとても楽しいものでした。レポーターは、社交ダンス教室に興味を持っての参加でしたが、これをきっかけに地域の人と触れ合おうという気持ちもとても強くなりました。



学生たちが見た乾隆学区～地域住民との交流で学んだこと～

乾隆学区と上京区役所が協力し、自治会・町内会等様々な方が集い地域の輪を広げる目的の事業が実施され、同志社大学政策学部風間ゼミの2回生が参加しました。学生たちは、二度のワークショップや、地域の方へのインタビューを通じて乾隆学区の魅力を知り、まちの人の結束力が学区の強みであることを実感しました。



活躍する多様な団体

上京区では垣根を超えたさまざまな取組が行われており、活躍しています。カミングでは2つの団体に注目し、取材いたしました。

ビールは垣根を越えて人の輪を譲す～西陣麦酒計画～

自閉症の人とともに西陣麦酒を製造・販売するプロジェクト、西陣麦酒計画。障害のある方の福祉就労・日中通所施設となる特定非営利活動法人 HEROES の松尾浩久さんにお話を伺いました。クラフトビールの持つ職的な製造工程と、自閉症の方の持つ特性、さらにおとなな嗜好品で



ある「ビール」の持つ面白さの可能性がつながり、誕生しました。障害者と健常者、地域と障害者支援施設、そういう垣根を越えて人の輪を譲り出している興味深い取組です。



「たくさん」交流しよう～京都に住んでいる外国人を支援!



京都に住んでいる外国人女性を支援する外国人女性の会パルヨンさんを「ワークショップ」となりの外国人とのおつきあいを通じて取材しました。パルヨンはフィンランド語で「たくさん」という意味を持ち、「たくさんの交流の場で友達をたくさんつくり、情報



をたくさんもらうことができるよう」、「という思いが込められています。外国人の定住者向けの行政サービスや取組がまだまだ多くない中、例えば、生活、言葉、子育て、医療、ご近所づき合い、地域慣習などについて外国人が話題を出し、他の参加者（外国人、日本人）がアドバイスする交流が定期的に行われています。

